

気候変動のスピードに対応した新たな水害対策

1. 令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風で被災した9つの水系などで実施している「緊急治水対策プロジェクト」を推進するとともに、氾濫域も含めた流域全体のあらゆる関係者（国・都道府県・市町村、企業等）が協働して、治水対策の全体像である「流域治水プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト一体となった総合的な事前防災対策を加速
2. 気候変動による影響を踏まえ、
 - ・新たな治水対策へ転換（基本方針・整備計画の見直し）
 - ・雨水管理総合計画に基づく対策の推進（重点的に対策を実施する区域・整備水準・段階的な整備方針等の設定）

1st 近年、各河川で発生した洪水・内水被害に対応

【全国の一級水系等での『流域治水プロジェクト』】

- ・国管理河川においては、戦後最大規模洪水へ対応
- ・都市機能が集積している地区等において、既往最大の降雨による内水被害へ対応（床上浸水を概ね解消）

主な対策

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備やダム建設・再生等の洪水氾濫対策
- ・雨水排水網、ポンプ場、貯留管整備等の内水氾濫対策
- ・利水ダム等による事前放流等の流水の貯留機能の拡大
- ・雨水貯留浸透施設の整備等の流域の雨水貯留機能の向上 等

■被害対象を減少させるための対策

- ・水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
- ・まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土地の水災害リスク情報の充実
- ・ハザードマップやタイムラインの策定等の避難体制等の強化 等

【イメージ】〇〇川水系流域治水プロジェクト

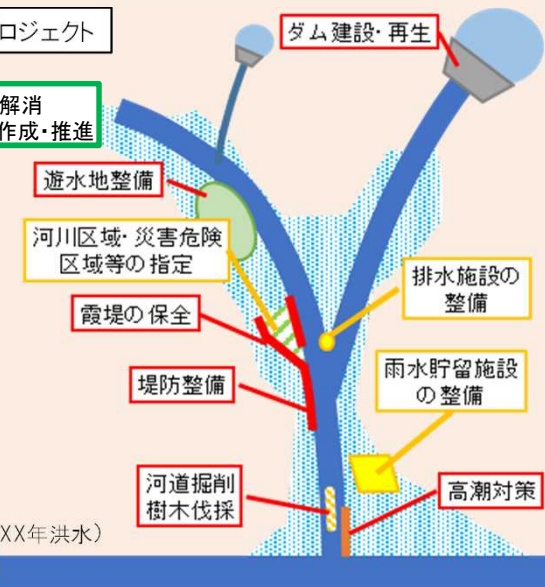
【凡例】

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■被害対象を減少するための対策

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

★ …浸水範囲（昭和XX年洪水）



2nd 気候変動で激甚化する洪水・内水による被害を回避

【気候変動適応型水害対策の推進】

- ・治水計画を、「過去の降雨実績に基づくもの」から、「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、抜本的な治水対策を推進
- ・気候変動による影響を踏まえた雨水管理総合計画に基づく対策を実施

速やかに
着手

気候変動による影響を踏まえた
河川整備基本方針や河川整備計画の見直し